

nuna®



NUNA i-size 対応チャイルドシート rebl

取扱説明書 / 保証書



reblTM
plus

Nuna を お選びいただき ありがとうございます！



本製品は、「i-Size」（インテグラル・ユニバーサル ISOFIX チャイルドレストレイントシステム）に対応したチャイルドシートです。自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応する、と指示されている座席に取り付けて使用することができます。

ただし、自動車の取扱説明書において、「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合があります。

自動車のメーカーの Web サイトを参照するか、自動車をお買い求めになったディーラー（販売店）にご相談ください。

本製品やチャイルドシートに関するご質問やご意見がございましたら、nuna のウェブサイト（nuna.eu）からお願いします（※現在、日本語のサイトはありません）。

nuna®

必ずお読みください		後ろ向き ▶ 前向き	47
ユーザー登録のお願い	4	リクライニングの使いかた	50
チャイルドシートについて	5	お子さまの乗せかた	52
自動車との適合について	5	後ろ向きでの使用	53
表記の説明	6	前向きでの使用	60
本取扱説明書で使用するイラストについて	6	サマーシートの使いかた	66
その他の表記について	6	お手入れのしかた	67
本製品の情報	7	カバー、パッドの取り外し	67
使用可能なお子さまの範囲	7	肩ベルトパッドの取り付け	72
ソフトパッドの使用	8	お手入れの方法	74
i-Size ISO-FIX システムによる取り付けについて	9	保管のしかた	78
自動車の座席への取り付けに関して	9	廃棄のしかた	78
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	9	保証について	78
本製品を取り付けできない座席	10	保証書	
内容物の確認	12		
各部の名称	13		
本製品の各部の名称	13		
自動車の各部の名称	14		
取扱説明書ホルダー	14		
使用上の注意	15		
緊急時の操作	25		
基本的な使いかた	26		
バックルの使いかた	26		
ハーネスの長さ調節	27		
ヘッドレストの調節	29		
ソフトパッドの使いかた	30		
自動車の座席への取り付け・取り外し	34		
取り付けかた	34		
取り外しかた	41		
シエル（座席）の回転	43		
前向き ▶ 後ろ向き	45		

必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、本製品の所定の場所に格納して大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品が取り付けられる可能性のある汎用 ISO-FIX 固定装置を装備した車両の情報が記載されています。

<http://www.katoji.co.jp/>

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を見落とすと、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この印に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について



「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

本製品の情報

ECE R129/00
i-Size UNIVERSAL
ISOFIX

Rearward facing
40cm-105cm
≤18.5kg
Forward facing
80cm-105cm
≤18.5kg



000005

本製品の適合するチャイルドシートの基準 ECE R129/00 では、本製品はユニバーサル ISO-FIX クラス B1,D に区分されており、ISO-FIX による固定でのみ使用可能です。

本製品は「i-Size」適合のチャイルドシートです。ECE R129 / 00 の規定により、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定されている座席で使用可能です。

本製品の取り扱いにつき、疑問がある場合は、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店までお問い合わせください。

使用可能なお子さまの範囲

本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE R129 / 00 基準に適合しており、新生児※から身長 105cm までのお子さまにご使用いただけます。本製品は、自動車の進行方向に対して、前向きまたは後ろ向きにして使用することができますが、ECE R129 / 00 の規定により、以下の通り、それぞれの向きにおいて使用できるお子さまの条件が定められています。

本製品の**使用可能な範囲**は、本製品が適合するチャイルドシートの基準 ECE R129 / 00 の規定により、**お子さまの身長を基準に使用範囲を定めています。**

使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えたお子さまは使用できません。

※ここでの新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

使用可能なお子さまの範囲

後ろ向き使用時	身長 40cm~105cm まで	かつ	体重 18.5kg 以下
前向き使用時	身長 80cm~105cm まで	かつ	生後 15 ヶ月以上
		かつ	体重 18.5kg 以下



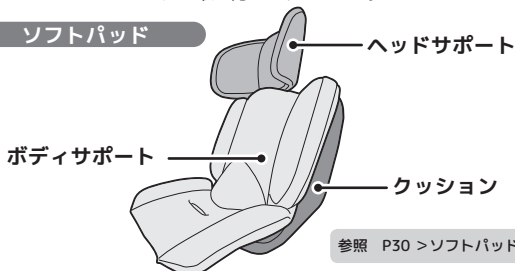
危険

本製品は、本製品の座席（シェル）が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。
お子さまの身長が 80cm 以上かつ生後 15 ヶ月以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きでは絶対に使用しないでください。

ソフトパッドの使用

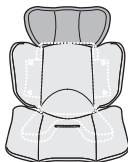
本製品では、より快適に安全にご使用いただくため、お子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できる、「後ろ向き使用時専用」のソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

ご購入時は、すべてのソフトパッドが取り付けられています。



ソフトパッドは後ろ向き使用時専用です。前向き使用時にはすべてのソフトパッドを取り外してください。

①身長 60cm まで

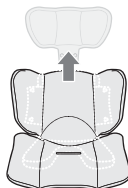


すべてのソフトパッドを取り付けて使用します。

⚠危険

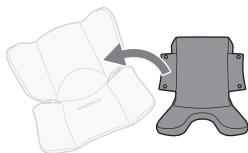
お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けた状態でご使用ください。

②身長 60cm 以上



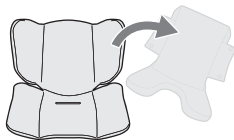
身長が 60cm を超えて、お子さまの頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して使用してください。

③身長 60cm 以上



身長が 60cm を超えて、お子さまの身体が窮屈になったら、クッションのみで使用するすることができます。

④身長 60cm 以上



身長が 60cm を超えて、お子さまの身体（特に肩部）が窮屈になったら、ボディサポートのみでも使用することができます。背中を快適にすることができます。

⑤身長 60cm 以上

身長が 60cm を超えて、お子さまの身体が窮屈になったら、すべてのソフトパッドを取り外して使用することができます。

i-Size ISO-FIX システムによる取り付けについて

本製品は、i-Size 適合の ISO-FIX タイプのチャイルドシートであり、ECE R129 / 00 シリーズの改訂版において承認されていますが、すべての自動車の取扱説明書において i-Size への対応が表記されているとは限りません。

また、本製品は、汎用 ISO-FIX 固定装置を装備した自動車との互換性がありますので「i-Size」への対応が記載されていない場合でも、取り付けることができる場合があります。

自動車メーカーの Web サイトを参照するか、自動車をお買い求めになったディーラー、販売店にお問い合わせください。

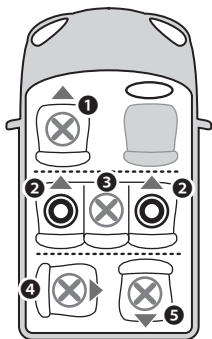
本製品は、チャイルドシートおよび ISO-FIX 固定装置の区分により「i-Size」に対応した自動車の座席に取り付けることができます（詳細については自動車の取扱説明書に記載されています）。

疑問がある場合は、チャイルドシートの製造業者または、自動車メーカーにお問い合わせください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 **取付使用可能**
- ③ 後列中央席 取付使用不可
- ④ 進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可



⚠ 危険 上記の座席（シート）すべてに取り付け、使用可能とは限りません。
上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

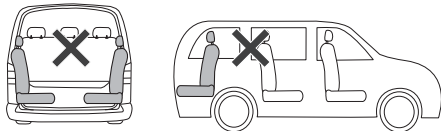
本製品を取り付けできない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠ 危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、特に本製品を後ろ向きで使用している場合、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席では使用しないでください。



助手席

本製品は、「i-Size」に対応しており、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指示された座席には取り付けることができます。車種によっては、助手席が「i-Size」に対応している場合もありますが、当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のポケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けられません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けられないようにしてください。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどする場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともありますのでご注意ください。

汎用 ISO-FIX 固定装置が装備されていない座席

チャイルドシートの機種が指定されている ISO-FIX 固定装置（スペシフィックヴィークル）では取り付け使用できません。

また、本製品は ISO-FIX システムによってのみ使用可能であり、自動車のシートベルトや他の方法によって固定して使用することはできません。



危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

座席やドアに干渉する座席

座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けないでください。

パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では、本製品を使用できません。

その他、取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、自動車の座席構造物、自動車のシートベルトなどが影響し、本取扱説明書にしたがっても、お子さまを正しく拘束できない、しっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

内容物の確認

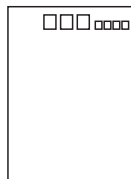
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



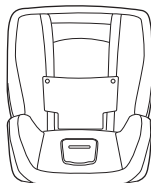
本書



ユーザー登録はがき



ISO-FIX ガイド



サマーシート



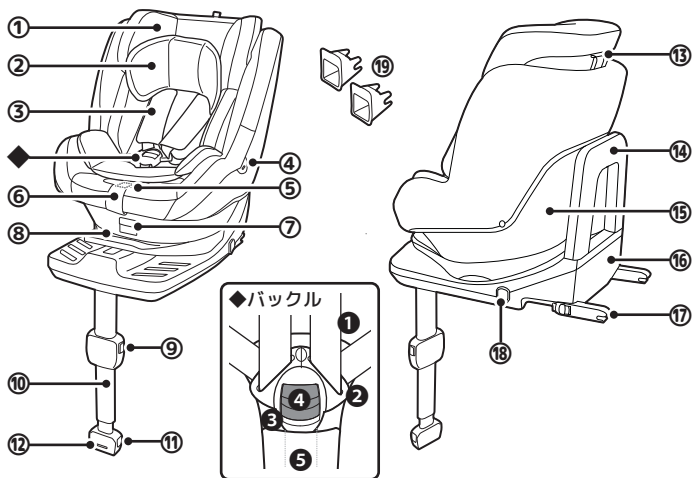
ヘッドレストのカバー



注意 本製品が入っていたビニール袋等の梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称



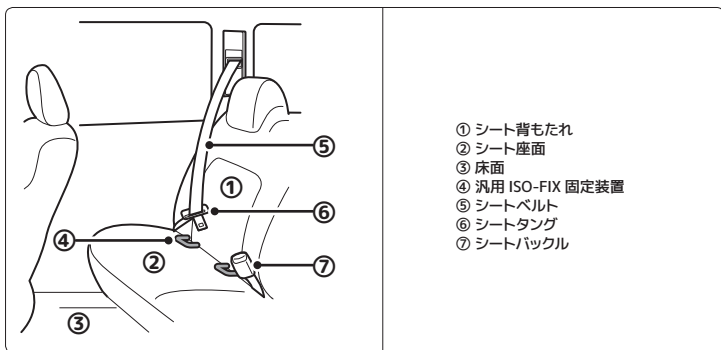
- ① ヘッドレスト
- ② ソフトパッド
- ③ 肩ベルトパッド
- ④ タングホルダー
- ⑤ アジャスターボタン (座面部の下)
- ⑥ アジャスターベルト
- ⑦ 回転ボタン
- ⑧ リクライニングレバー
- ⑨ レッグアジャストボタン
- ⑩ サポートレッグ

- ⑪ アジャストボタン
- ⑫ レッグインジケーター
- ⑬ ヘッドレストアジャストレバー
- ⑭ リバウンドバー
- ⑮ シェル
- ⑯ ベース
- ⑰ ISO-FIX コネクター
- ⑱ リリースボタン
- ⑲ ISO-FIX ガイド

- ◆バックル
- ① ハーネス
- ② 差込タング
- ③ 受けバックル
- ④ バックルボタン
- ⑤ 股ベルトパッド/股ベルト

自動車の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

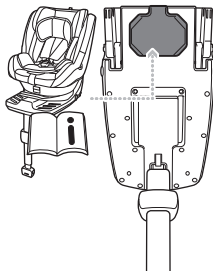


ポイント 自動車の取扱説明書においては、別の名称にて記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

取扱説明書ホルダー

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

取扱説明書ホルダー



使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。



危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用可能な範囲を守ること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準（ECE R129/00）に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの身長条件が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ハーネス、股ベルトをねじらないようにしてゆるみなく装着すること

ハーネスや股ベルトにねじれやゆるみがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハーネスおよび股ベルトにねじれやゆるみがないようにして、適切にお子さまを拘束してください。



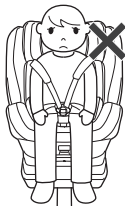
ハーネスを常に正しく装着すること

ハーネスの腰部分がお子さまの骨盤の上を通るように調節して使用してください。適宜、ハーネスの状態を確認して、正しい状態になっていることを確認してください。転倒のおそれがありますので、ハーネスの高さの調節など、自動車の座席に取り付けられていない場合でも本製品にお子さまが乗る場合は、いかなる場合もハーネスで正しく拘束してください。



体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまの身長が規定の範囲内でも、お子さまが成長して本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が上にはみ出してしまふ場合やお子さまの足が本体から極端にはみ出してしまふようになった場合、調節してもお子さまを正しく拘束できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。





危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやバックルボタンに触れたりすると、お子さまが正しくチャイルドシートに固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネスが正しく装着されているか確認してください。



お子さまを正しく拘束して使用すること

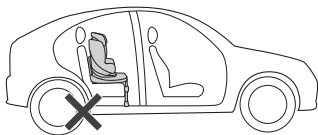
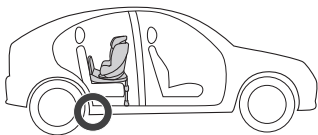
本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを拘束してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたり、自動車のシートベルトで拘束したりしてはいけません。



身長 80 cm 以上かつ生後 15 か月を超えるまでは後ろ向きにして使用すること

本製品は、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。お子さまの身長が 80cm 以上になりかつ生後 15 か月を超えるまでは、前向きでは使用しないでください。

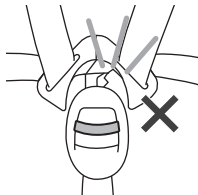
お子さまが前向きの使用条件を満たすようになって、安全のため可能な限りは後ろ向きでの使用をお勧めします。



身長 80cm 以上 / 生後 15 か月を超えるまで

バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



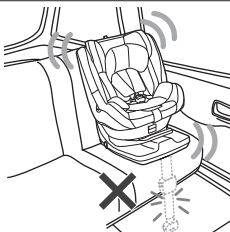
**危険**

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

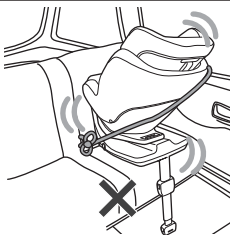
これらの指示に従わないと、本製品が正しく固定できず、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮することができません。



指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、適合する車種の汎用 ISO-FIX 固定装置に取り付けて（およびサポートレッグの床面への接地）のみ使用可能です。シートベルトや、ひも、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。

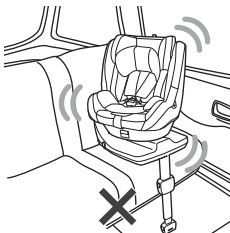
また、本製品を正しく取り付けた上にこれらのもので補強したり、お子さまの拘束ためにこれらのものを使用してはいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



本製品のシェル（座席部分）は、前向き、後ろ向きのいずれか以外の向きで使用しないこと

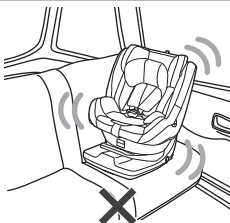
本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席部分（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。シェルを横や斜めに向けた状態では絶対に使用しないでください。



指定以外の向きで自動車のシートに取り付け、使用をしないこと

本製品は、ベースのサポートレッグを前にして床面に接地させて自動車の座席に取り付けます。本製品のベース部分を横向きや、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。

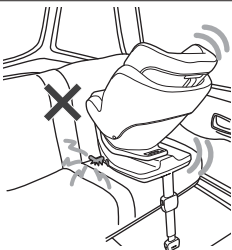




危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

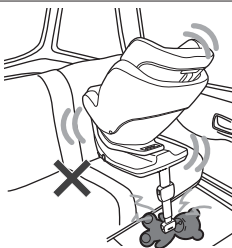
本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合、絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。自動車の汎用 ISO-FIX 固定装置や本製品の ISO-FIX コネクターに異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。



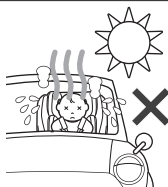
サポートレグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレグは、安全上大変重要な部品です。サポートレグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレグの下に物を置かないでください。また、サポートレグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレグの周囲、特にサポートレグの前に物を置かないようにしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



分解、改造、修理をしないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造、修理をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

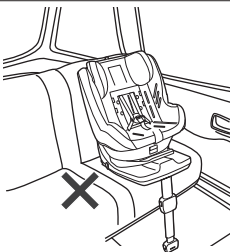
本製品の補修、部品交換、メンテナンスに関しては、本製品をお買い求めになった販売店か、本書巻末の保証書欄に記載のお客様サービスまでお問い合わせください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



指定のソフトパッド、カバー類以外のものを使用しないこと

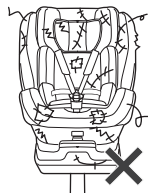
本製品のソフトパッド、カバー類はすべて本製品を構成する重要な安全部品であり、それらを取り付けた状態で基準に適合しています。

当社が指定するソフトパッド、カバー類以外のものを取り付けて使用したり、新たに追加して使用したりしてはいけません。

中古品を使用しないこと

中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

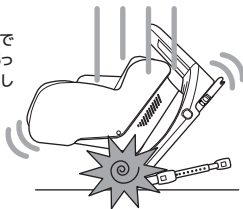


購入後 5 年を経過した本製品は使用しないこと

購入後 5 年以上経過した本製品を使用しないでください。経年や日光の影響により部品が劣化するなどして、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に性能なくなっているおそれがあります。

衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

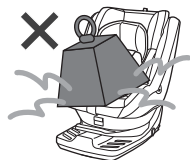
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。それが軽微な事故にあった等の事由でも、目には見えない損傷によって、本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

過度の負担を掛けないこと

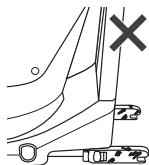
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の上に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合は使用しないでください。



ISO-FIX に関わる部位、部品は常に清潔にしておくこと

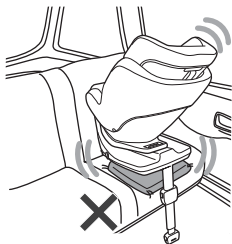
自動車の汎用 ISO-FIX 固定装置、本製品の ISO-FIX コネクター、ISO-FIX ガイドは常に清潔を保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。これらに汚れやほこり、食べ物カスなどのゴミが付着していると、本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがあります。

また、これらの部位、部品のお手入れには絶対に潤滑性のある洗剤や油などを使用してはいけません。



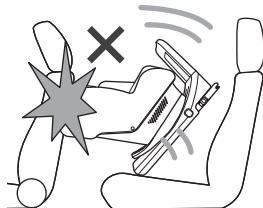
本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けの際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

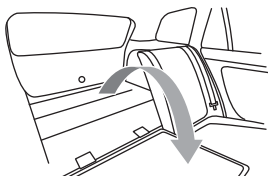
お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

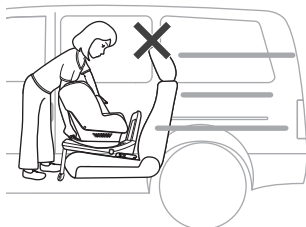
可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



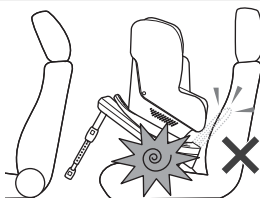
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



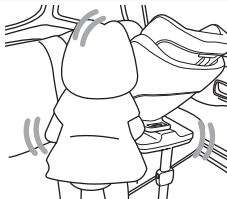
リバウンドバーを外さないこと

リバウンドバーを取り外すと、事故や衝撃を受けた際に本製品が安全に機能しません。絶対に取り外さないでください。



走行前には、毎回、本製品の取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回本製品の状態を確認して、常に自動車の座席に正しく取り付けられた状態で使用するようになしてください。



必ずお子さまをハーネスで拘束しておくこと

自動車が動いていない場合などでも、お子さまを本製品に座らせる場合はハーネスで拘束しておいてください。

本製品を高い場所に置かないこと

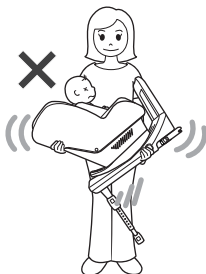
たとえハーネスで正しく固定していても、お子さまを本製品に乗せたままで椅子の上などの高所、階段の近くなどには一時的にでも放置してはいけません。また、お子さまを乗せていない場合でも、本製品が落下すると思わぬ事故につながるおそれがありますので、落下すると危険な場所には本製品を放置しないでください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げないこと

お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

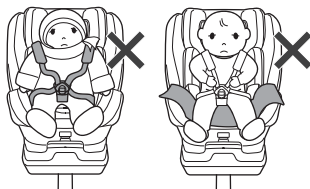
また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。



不適切な着衣で使用しないこと

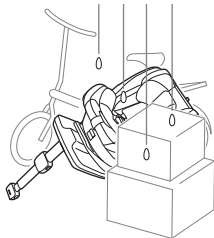
本製品のハーネス、股ベルトでお子さまを正しく拘束できなくなるおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないでください。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

目的外で本製品を使用しないこと

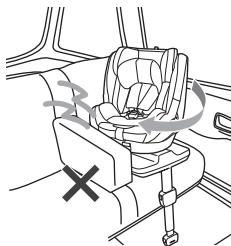
本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。お子さま用の椅子として使用したり、椅子の上のせて使用したり、本製品を睡眠用のベッドとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用すると重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

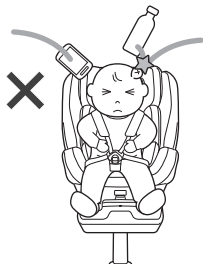
自動車の構造物に干渉して本製品のシェル（座席）が回転できない場合、無理に回転させようとしないこと

座席の種類によっては、自動車の構造物に干渉して本製品のシェルが回転させられない場合があります。この場合には、無理に回転させようとせず、他の座席に取り付けるか、または干渉する構造物を取り外すなどしてシェルを回転できるようにするか、シェルを回転させずに使用するようになしてください。



自動車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

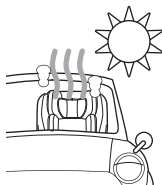




注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ハーネスや股ベルトなど、ベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、シェルの生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合は、シートベース部分を持つようにしてください。



適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑性のある成分を含む洗剤や、油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、必ず本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

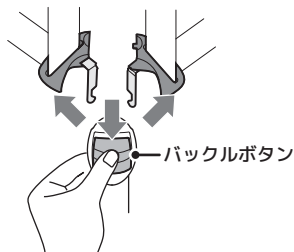
また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席に取り付けたままにしておかないこと

本製品の劣化にもつながりますので、本製品を連続して使用しない場合には、自動車の座席から取り外して、車外で適切に保管するようにしてください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品の ISO-FIX コネクターを、自動車の汎用 ISO-FIX 固定装置から外して本体ごと脱出させてください。または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの身長や体格、年齢に合わせて調節してください。



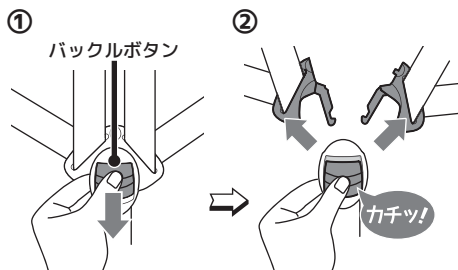
危険 本製品は、お子さまの身長、体格、年齢にあわせて、シェル（座席）の向きやソフトパッド、ハーネスなどの調節が必要となります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、正しく調節して使用してください。

バックルの使いかた

外しかた

01

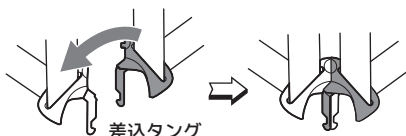
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。



留めかた

01

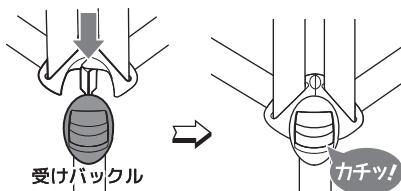
左の差込タンクの上に右の差込タンクを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



危険 ハーネスにねじれがないように注意してください。ハーネスにねじれがあると、本製品が安全に機能しないおそれがあります。

02

左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



03

ハーネスを軽く引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

⚠ 危険

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ!と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止してください。

💡ポイント

受けバックルの内部にゴミなどが入らないよう、お子さまを乗せていないときも、バックルを留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルトの長さを調節します。

⚠ 警告

ハーネスが適切に調整されていないと、お子さまが本製品から落下したり、過度の負担がかかったりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調整してください。

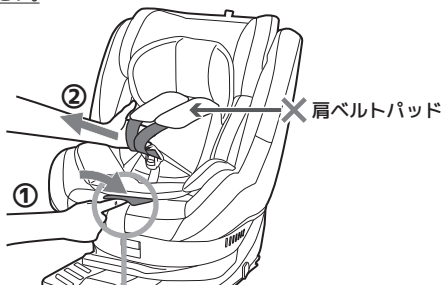
ゆめかた

01

あらかじめ、バックルを留めておきます。

02

肩ベルトをゆるめるには、①シェルの前端のアジャスターボタン（カバーの下にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②下図の通り、左右のハーネスを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、ハーネスの引き出しができませんのでご注意ください。



アジャスターボタンはカバーの下（切れ込み）中にあります。
外側からは見えません。



危険

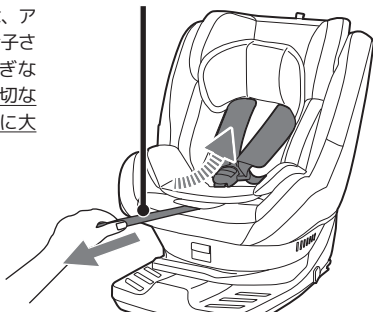
左右のハーネスを同時に調節し、左右のハーネスを同じ長さになるように調節してください。左右の長さが異なると、事故や衝撃を受けた際にお子さまがハーネスから外れて飛び出すおそれがあります。

締めかた

01

ハーネスを短くする（締め付ける）場合は、アジャスターベルトをゆっくりと引きます。お子さまを乗せている場合は、強く締め付けすぎないように注意してください。ハーネスの適切な長さは、お子さまの胸部とハーネスの間に大人の方の指先が差し込める程度です。

アジャスターベルト



警告

ハーネスが強く締め、お子さまを過度に圧迫するおそれがあります。アジャスターベルトを、勢いよくまた必要以上に引っ張らないでください。

ヘッドレストの調節

本製品は、お子さまの成長にあわせてヘッドレストの高さを調節して使用します。ヘッドレストの高さ調節と連動して、お子さまを拘束するハーネスの肩の高さも調節されます。お子さまの成長に合わせて適切に調節してください。

ポイント ハーネスの適切な高さは、後ろ向き使用時、前向き使用時で異なります。それぞれの使用時に適切な高さに調節してください。

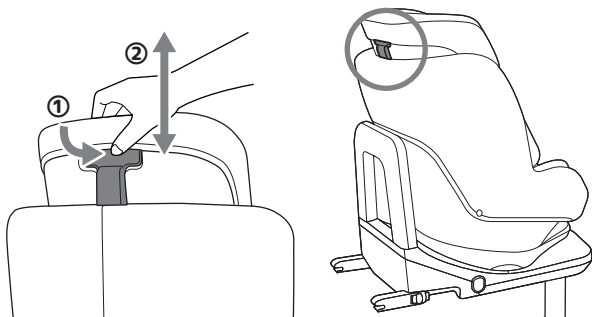
参照 P57 > 07 (後ろ向き使用時の適切な高さ)

参照 P63 > 07 (前向き使用時の適切な高さ)

01

本製品背面の①ヘッドレストアジャストレバーを握り、②ヘッドレストを上下に動かします。目的の高さで高さ調節レバーから手を離し、軽くヘッドレストを上下に動かし、ヘッドレストが目的の高さで固定されていることを確認します。

ヘッドレストは7段階で高さを調節することができます。



ポイント ヘッドレストが最も低い高さに調節されている場合（箱から取り出した状態）は、シェルとヘッドレストの隙間に手を差し入れて操作してください。

ソフトパッドの使いかた

ソフトパッドは、後ろ向き使用時専用です。お子さまの月齢、体格等より調節して使用します。P8を参照して正しくお使いください。

本製品を前向き使用する場合は、他の条件にかかわらず、ソフトパッドはすべて取り外した状態で使用してください。



危険

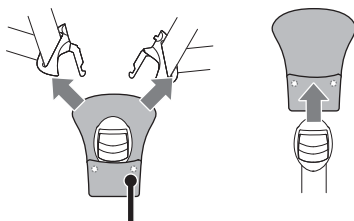
お子さまの身長が60cmを超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けた状態でご使用ください。ご購入時すべてのソフトパッドが取り付けられています。

参照 P8 > ソフトパッドの使用

取り外しかた・取り付けかた

01

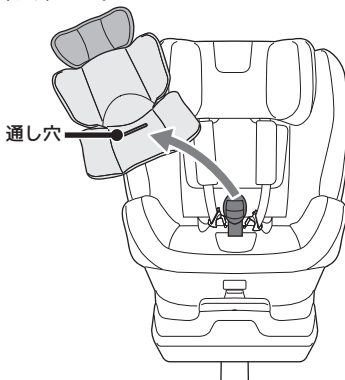
バックルを外して、股ベルトパッドの前側のバンドの左右のホックボタンを外して、受けバックルから股ベルトパッドを抜き取ります。



スナップボタン

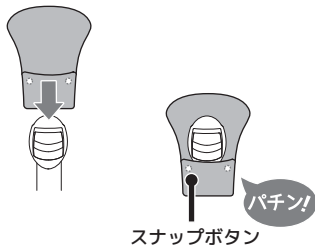
02

ハーネスをヘッドサポートとボディーサポートの間から外し、ソフトパッドの通し穴から受けバックルを抜いて、取り外します。



03

股ベルトパッドを、受けガバクルに差し入れてスナップボタンを留めます。
「パチン」と音がするようしっかりと留めてください。



⚠ 警告 股ベルトパッドは、お子さまの年齢や使用する向きに関わらず、必ず取り付けて使用してください。

04

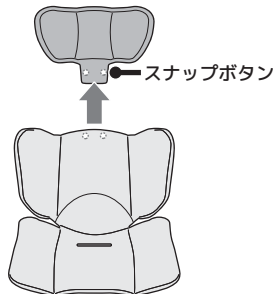
ソフトパッドの取り付けは、逆の手順で行ってください。

ヘッドサポートの取り外し・取り付け

身長が 60cm を超えて、お子さまの頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して使用することができます。

01

ヘッドサポートは、ソフトパッドを本体に取り付けた状態でも取り外し、取り付けが可能です。
ヘッドサポートのスナップボタン（2カ所）を外して、取り外してください。



💡 ポイント スナップボタンは、ボディーサポートとクッションの間に挟まれています。

02

取り付けは、逆の手順で行います。2カ所のスナップボタンを「パチン」と音がするようにしっかりと留めてください。

クッションのみ・ボディーサポートのみでの使用

身長が60cmを超えて、お子さまの身体が窮屈になったら、クッションのみ、または、ボディーサポートのみで 사용할 ことができます。

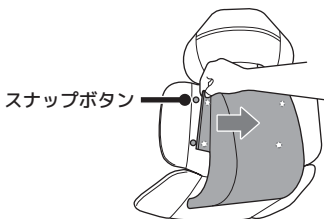
01

ソフトパッドを取り外します。

参照 P30-31 > 取り外しかた・取り付けかた

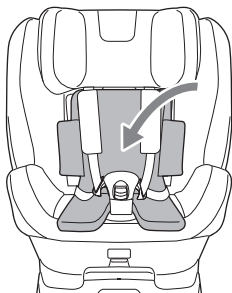
02

ボディーサポートの背面にクッションを取り付けているスナップボタン(4カ所)を取り外します。



03

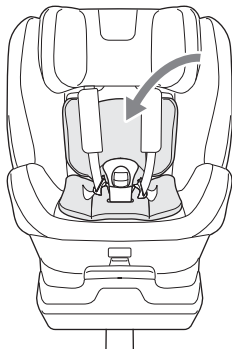
クッションのみで使用する場合は、シェルの座面の形状に合わせて図のように置きます。



⚠ 警告 股ベルトパッドは、お子さまの年齢や使用する向きに関わらず、必ず取り付けで使用してください。

04

ボディサポートのみで使用する場合は、クッションを取り外した状態で受けバックルをボディサポートの通し穴を通して使用します。股ベルトパッドを取り付けて使用してください。



ソフトパッドの保管

取り外したソフトパッドは、なくさないようお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

自動車の座席への取り付け・取り外し

⚠ 警告 安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

⚠ 注意 本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがありますので、お子さまを本製品に乗せた状態で、取り付け、取り外しの作業はしないでください。

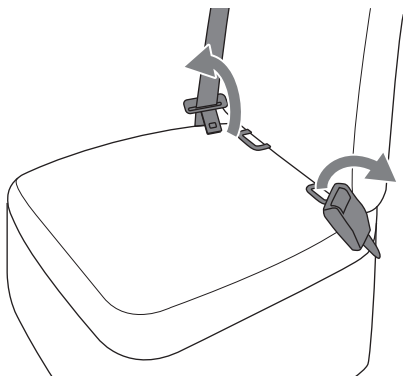
取り付けかた

本製品は、シェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。お子さまの身長に合わせて使用できる向きが定められています。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向き、どちらの状態でも可能です。

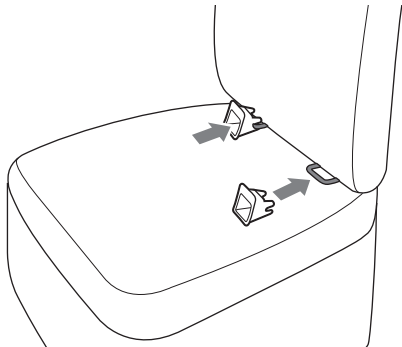
01

本製品を取り付ける自動車の座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

ISO-FIX ガイドを、座席の汎用 ISO-FIX 固定装置に差し込みます。



自動車の汎用 ISO-FIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、汎用 ISO-FIX 固定装置が見えますので、その状態で ISO-FIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、汎用 ISO-FIX 固定装置にカバーが掛けられている場合が

💡 **ポイント** ありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、構造上 ISO-FIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISO-FIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、自動車の座席の表皮に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

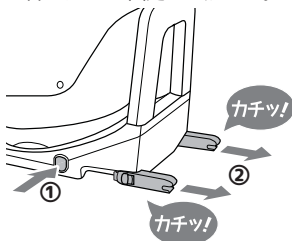
03

サポートレッグを、完全に開きます。



04

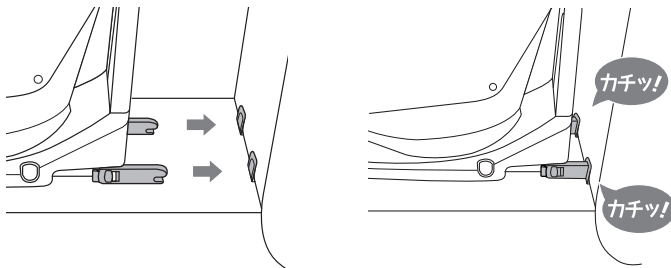
シートベース下部左右の①リリースボタンを押して、② ISO-FIX コネクターを引き出します。最後まで引き出して「カチッ」と音がするように固定してください。



ポイント ISO-FIX コネクターが最後まで引き出されて固定されると、リリースボタンが元に戻ります。リリースボタンが押し込まれたままの状態では ISO-FIX コネクターは固定されていません。

05

本製品をシート座面に乗せ、左右の ISO-FIX コネクタと左右の ISO-FIX ガイドの位置をあわせませす。そのまま左右の ISO-FIX コネクタを ISO-FIX ガイドに差し込みます。それぞれ左右の ISO-FIX コネクターから「カチッ」と音がして汎用 ISO-FIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

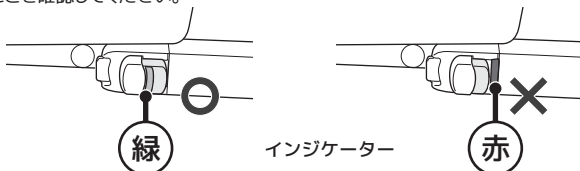


ISO-FIX コネクターはあらかじめ引き出しておいてください。シート座面に乗せてから ISO-FIX コネクターを引き出すと、シート座面の生地の種類によっては、ISO-FIX コネクターが押し戻されることがあります。

06

左右の ISO-FIX コネクターのインジケーターが両方とも完全に緑色になっていることを確認してください。赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。

本製品を引っ張って、左右の ISO-FIX コネクタが抜けたり、インジケーターが赤色になったりしないことを確認してください。



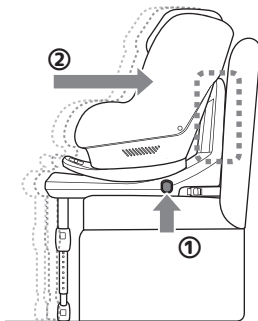
⚠ 危険

ISO-FIX コネクターが確実に汎用 ISO-FIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ISO-FIX コネクターの左右のインジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、固定時に左右とも「カチッ」と音がして、かつ、左右両方のインジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

07

①リリースボタンを押して、②本製品をシート背もたれ側に押し付けます。

9 段階で調節可能ですので、シート背もたれにリバウンドバーが接するように押し込みます。



⚠ 警告

本製品は必要以上には押し込まないでください。サポートレグが自動車のシート座面先端に極端に押し付けられると、シートベースがシートから浮いたり、サポートレグが正常に機能しなくなるおそれがあります。サポートレグとシート座面先端の間にはすき間をけてください。

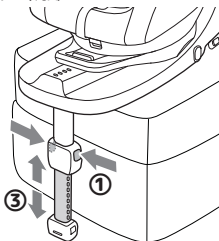
💡ポイント

ISO-FIX コネクターは、リリースボタンを使い、長さを調節することができます。

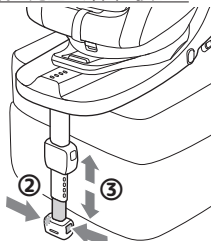
押し付けすぎた場合は、同じ手順で手前に引き出すことができます。長さを調節した後は、左右のリリースボタンが元に戻り、ISO-FIX コネクターがシートベースに固定されていることを確認してください。

08

サポートレッグ左右の①レッグアジャストボタンと②アジャストボタンをつまみながら、③サポートレッグを上下に調節してサポートレッグの先端が完全に床面に接するようにします。



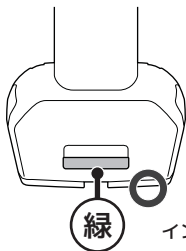
レッグアジャストボタン



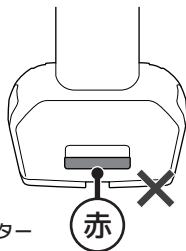
アジャストボタン

09

サポートレッグ先端のインジケーターが緑色になっていることを確認します。赤色の場合は、インジケーターが緑色になるまで、サポートレッグを調節してください。



インジケーター



ポイント

サポートレッグの長さは、24段階で調節可能です。適切な長さになるよう、レッグアジャストボタンとアジャストボタンでの調節を合わせてください。

危険

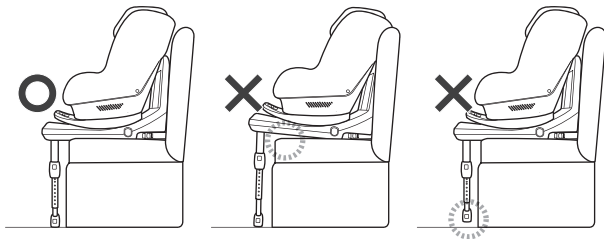
サポートレッグが完全に床面に接地すると、インジケーターは緑色になります。赤色の場合や赤色が半分以上表示されている場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、インジケーターが緑色になるようにしてください。

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



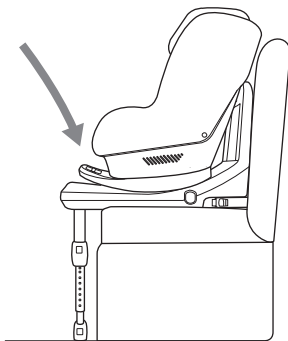
危険

サポートレッグを調節する際に、本製品の底面が座面から浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。



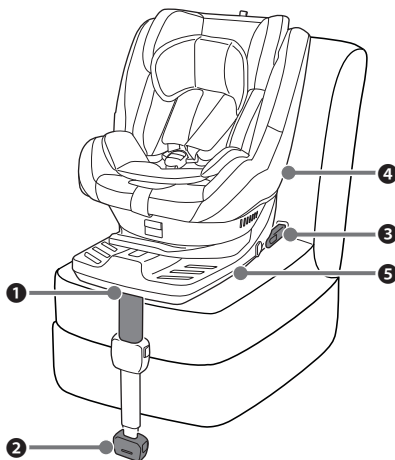
10

本製品の前部分を上から押して、サポートレッグが目的の長さで固定（レッグアジャストボタン/アジャストボタンの固定）されていて、押されて短くなったりしないことを確認してください。



11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



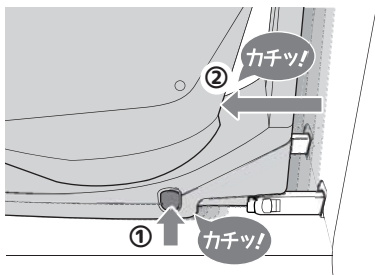
チェックリスト

- ① サポートレッグが完全に開いていること。
- ② サポートレッグの先端が床面に接し、サポートレッグのインジケーターが緑色になっていること。
サポートレッグの接する床面が安定していること。また、サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
- ③ ISO-FIX コネクタがしっかり奥まで押し込まれていること。
ISO-FIX コネクターが汎用 ISO-FIX 固定装置に固定され、ISO-FIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ④ リバウンドバーが、自動車のシートの背もたれと接していること。
- ⑤ 本製品の底面がシート座面に接していること。また、自動車のシートベルト、ベルトタング、ベルトバックルなどの上に本製品が乗っていないこと。

取り外しかた

01

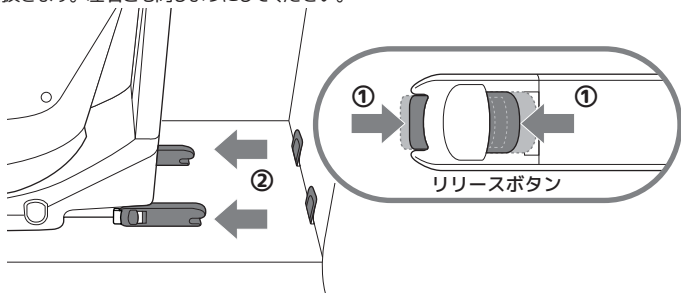
シートベースの①リリースボタンを押して、②シートベースを前方向に引き出します。「カチッ」と音がして ISO-FIX コネクターが固定されるまでシートベースを引き出してください。



02

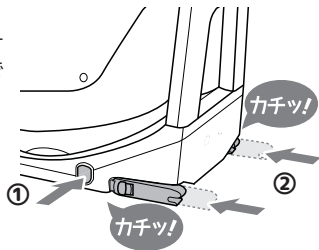
ISO-FIX コネクターはダブルロック構造になっていますので、2 カ所のリリースボタンをつまむよう押してにして操作します。

①リリースボタンを両方から押してロックを解除して、③汎用 ISO-FIX 固定装置から本製品を抜きます。左右とも同じようにしてください。



03

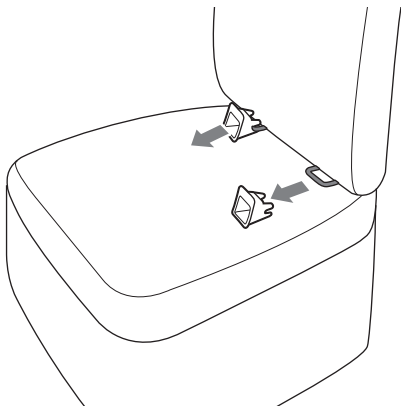
①リリースボタンを押して、② ISO-FIX コネクターをシートベースに格納します。最後まで押し込んで「カチッ」と音がするよう固定してください。



⚠ 注意 破損、故障、ケガの原因になりますので、本製品を使用しない場合は ISO-FIX コネクターをシートベース内に格納しておくようにしてください。

04

ISO-FIX ガイドを取り外します。ISO-FIX ガイドは、なくさないようにお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



⚠ 注意 ISO-FIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISO-FIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

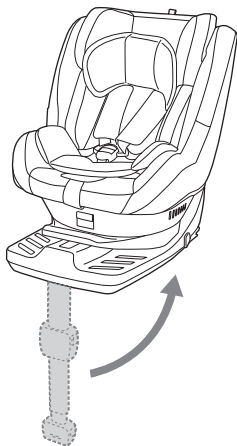
05

自動車から取り出し、サポートレッグをたたみます。

💡 **ポイント** サポートレッグはたたまれた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。

⚠ 警告 本製品の座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意 サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがあります。本製品を持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。



シェル（座席）の回転

本製品は、シェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用します。また、シェルをドア側に回転させると、よりスムーズにお子さまの乗せ降ろしができます。前向きから後ろ向き、後ろ向きから前向きの回転では、注意する事柄に異なる部分がありますのでご注意ください。

ポイント シェルの回転操作は、自動車の座席に取り付けた状態で行います。シートベースがシートに固定されていないと、シェルが思わぬ動きをすることがあります。

⚠危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまが、シートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が自動車の座席やその他の構造物と本製品の間に挟まれていると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。



シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、シェル（座席）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、シェル（座席）は、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。シェルを、斜めや横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



お子さまの身長により、前向きでの使用には制限があります

使用可能なシェルの向きは、本製品が適合する基準によって定められています。使用できるお子さまの条件を必ず守ってください。

参照 P7 > 使用可能なお子さまの範囲

警告

シエルの回転時に稼働する部分に手指を置かないでください。回転するシエルとシートベースに、手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際は、安全を確認して、可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。



お子さまが自動車の構造物や、本製品のリバウンドバーなどにあたらないよう注意して操作してください。

注意

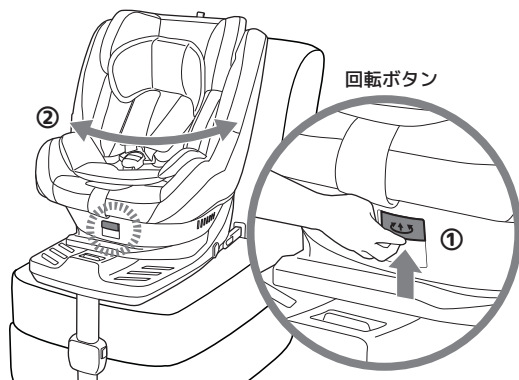
お子さまが乗っていない場合でも、シエルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。自動車の走行中にシエルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品が破損するおそれがありますので、回転がスムーズにできない場合は無理に回転させないでください。異物等の引っかかりの可能性があるので、原因を確認して異物を取り除くなどしてから回転させてください。

前向き ▶ 後ろ向き

01

①回転レバーを押上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右、どちらにも回転します。お子さまに注意して操作してください。



リクライニングが「1」または「2」に調節されていると、シェルの座面先端がリバウンドバーに干渉して回転させにくくなります。3～7に調節すると回転がスムーズに行えます。

参照 P50 > リクライニングの使いかた

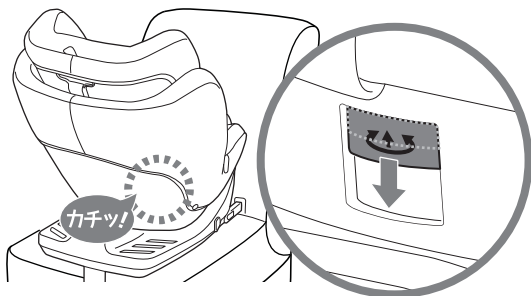
02

お子さまを乗せ降ろしする場合は、自動車のドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。

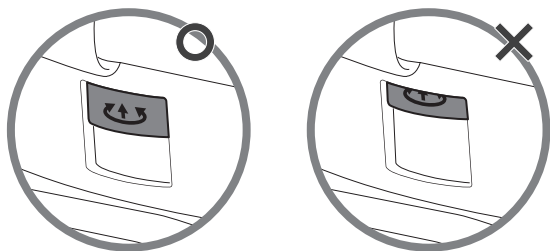


03

そのまま、後ろ向きになるまで回転させると「カチ」っと音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。



回転ボタンが上がったままの状態では、シェルは固定されていません。後ろ向きの状態では回転ボタンが見えませんが、軽くシェルを動かして動かないことを確認します。



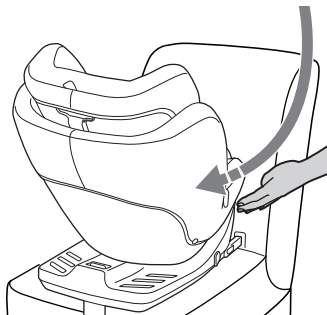
後ろ向き ▶ 前向き

後ろ向きから前向きへの回転の場合、リバウンドバーとシェルのすき間に手を差し入れて操作します。

狭い空間に手を差し入れるので、ケガしないように注意して操作してください。

01

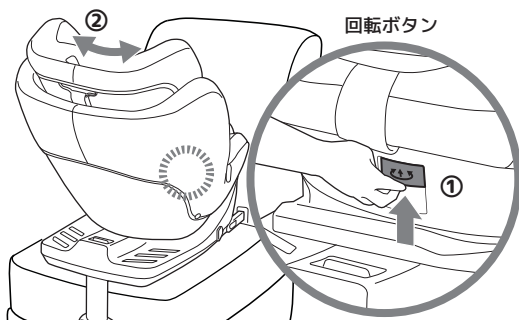
リバウンドバーとシェルの座面先端の下側の間に、横側から手を差し入れます。



02

①回転ボタンを押し上げて、②シェルの少しだけ回転させてロックを解除します。

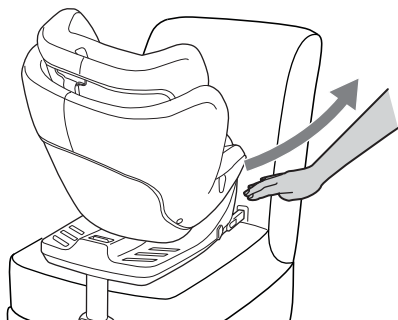
シェルは左右、どちらにも回転するので、回転させたい側に少しだけ回転させてください。



⚠ 注意 すき間に手を入れたままシェル回転をさせないでください。手が本製品の構造物や自動車の構造物に挟まれてケガをするおそれがあります。

03

ロックが解除されたら、回転ボタンから手を離して、すき間から手を抜きます。



ポイント

リクライニングが「1」または「2」に調節されていると、シェルの座面先端がリバウンドバーに干渉して回転させにくくなります。3～7に調節すると回転がスムーズに行えます。

参照 P50 > リクライニングの使いかた

04

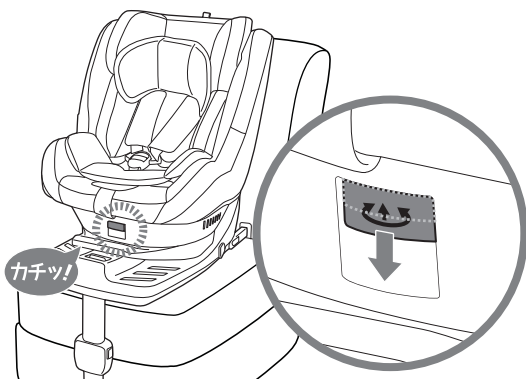
そのまま、お子さまに注意してシェルを回転させます。

お子さまを乗せ降ろしする場合は、自動車のドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。

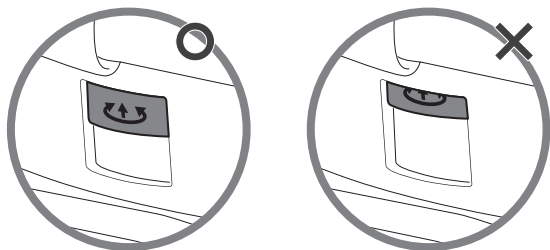


05

そのまま、前向きになるまで回転させると「カチッ」と音がしてシェルが前向きで固定されます。



回転ボタンが上がったままの状態では、シェルは固定されていません。ボタンが下がっていることを確認してください。



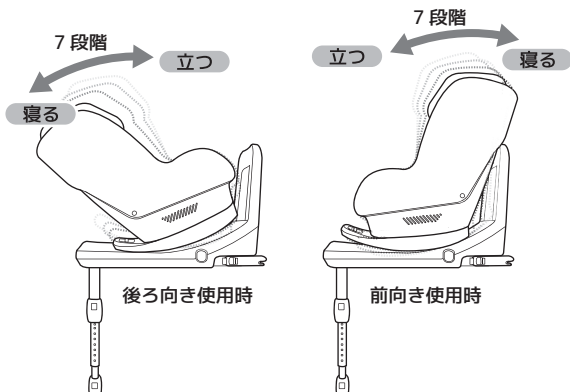
リクライニングの使いかた

本製品には、座席（シェル）の角度を変えるリクライニング機構が装備されています。

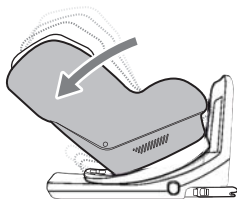
リクライニングは、7段階で調節可能です。

後ろ向き、前向きとも7段階で調節して使用することができます。

お子さまの月齢が低い間（お子さまの首がすわる 4 カ月頃くらいまで）は、リクライニングを最も寝かせた状態にして使用してください。

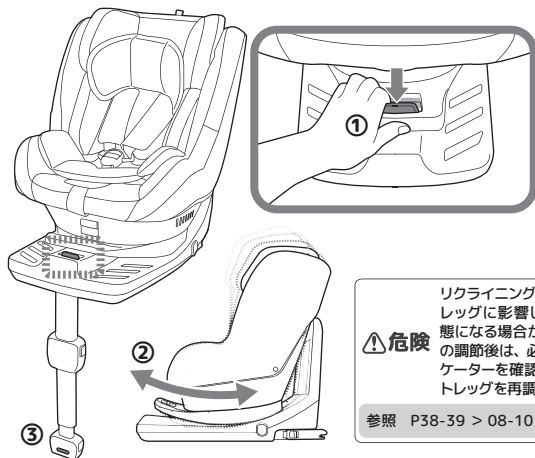


お子さまの月齢が低い間、特に首がすわるまでの間は（およそ生後4カ月頃）、お子さまの姿勢を立てた状態にすると首が倒れて気道を圧迫し、呼吸に影響を与えるおそれがありますので、すべてのソフトパッドを取り付けた上で、リクライニングを最も寝かせた状態にして使用してください。お子さまの首がすわった後でも、月齢の低い間は様子を確認して、リクライニングを調節するようにしてください。



01

①リクライニングレバーを握り前後に動かして、②シェルの角度を調節します。目的の角度で固定されたら、③サポートレッグの状態を確認してください。サポートレッグのインジケータが完全に緑色でなくなっている場合は、サポートレッグを再調節してください。



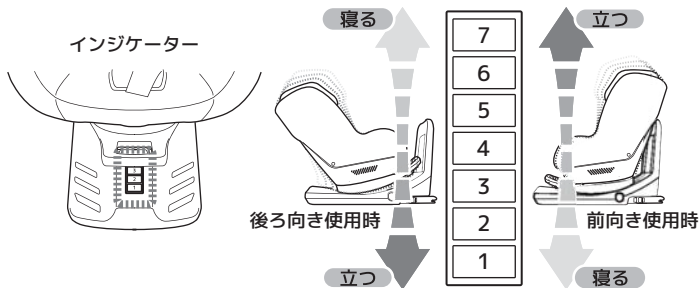
⚠ 危険

リクライニングの調節をすると、サポートレッグに影響して、長さが適切でない状態になる場合があります。リクライニングの調節後は、必ずサポートレッグのインジケータを確認して、必要に応じてサポートレッグを再調節してください。

参照 P38-39 > 08-10

02

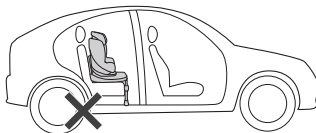
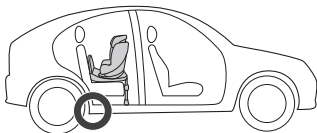
前向き使用時、後ろ向き使用時、いずれも7段階でリクライニングを調節することができます。リクライニングインジケータでリクライニングの段階を確認することができます。



💡ポイント 後ろ向き使用時は、シェル（座面）先端とリバウンドバーのすき間に手を入れて操作します。

お子さまの乗せかた

危険 身長 80cm 以上かつ生後 15 ヶ月以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用可能。前向きでは絶対に使用しないでください。



警告 本製品を取り付けてからお子さまを乗せてください。お子さまを乗せてから取り付けようとすると、お子さまが落下するおそれがあります。

本製品の適合する基準では、お子さまの身長を基準にして、後ろ向き、前向きでの使用範囲が定められています。使用範囲およびそれぞれの使用する向きに合わせて正しく本製品を調節してご使用ください。

	使用可能なお子さまの範囲	使用時	リクライニング ソフトパッド
後ろ向き使用	身長 40cm から 105cm まで かつ 体重 18.5kg まで		リクライニングの段階 1 から 7 まで 使用可能 ソフトパッド 使用可能 お子さまの身長が60cmを 超えるまでは、すべての ソフトパッドを取り付け ること
前向き使用	身長 80cm から 105cm まで かつ 体重 18.5kg まで		リクライニングの段階 1 から 7 まで 使用可能 ソフトパッド 使用不可

後ろ向きでの使用

身長 80cm 以上かつ生後 15 ヶ月以上になるまでは、後ろ向きでのみ使用することができます。お子さまの体格が合えば、体重 18.5kg になるまで後ろ向きで使用することができます。お子さまの身長が 80cm 以上かつ生後 15 ヶ月以上になり、お子さまの足がリバウンドバーに接するようになったら、前向きにして使用してください。

準 備

01

お子さまの身長、月齢、体格に合わせてソフトパッドを調節します。

参照 P8 > ソフトパッドの使用

参照 P30-33 > ソフトパッドの使いかた



危険 お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けた状態でご使用ください。

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P40 > 11

03

お子さまの月齢が低い場合（お子さまの首がすわるまで）は、リクライニングの角度を最も寝かせた状態にしておいてください。

参照 P50-51 > リクライニングの使いかた

お子さまを乗せる

01

必要に応じてシェルを、お子さまを乗せやすい方向に回転させてください。

参照 P43-49 > シェル（座席）の回転

02

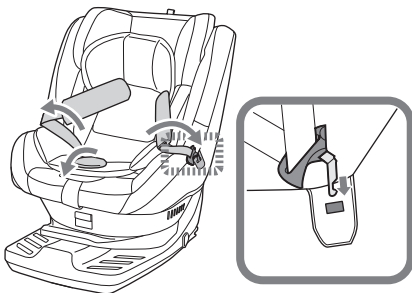
肩ベルトをゆるめます。



参照 P27-28 > ハーネスの長さ調節

03

お子さまが、受けバックルや差込タングの上に座らないよう、バックルを外し、①股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、差込タングを外側に出して、両サイドのタングホルダーに差込タングをそれぞれ差し込みます。



タングホルダー

04

楽な姿勢にして本製品に座らせませす。お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間に入れます。



💡ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

⚠️危険

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく拘束できず、事故や急制動の際にお子さまに過剰な負担がかかったり、本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

差込タングをタングホルダーから外し、ハーネスにお子さまの腕を通します。
ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、ハーネスの腰の部分がお子さまの骨盤の上を通るようにして、「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。



ハーネスの装着がきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルポイント^①を留めます。次に記載のハーネスの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられる可能性があります。

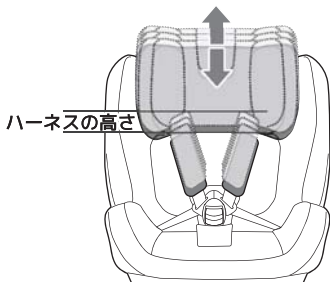


危険

ハーネス、股ベルトをねじらないようにしてください。ハーネスや股ベルトにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

06

ヘッドレストを操作して、ハーネスの高さを確認、調節します。
ハーネスが締め付けられている場合は、さらにハーネスをゆるめてください。

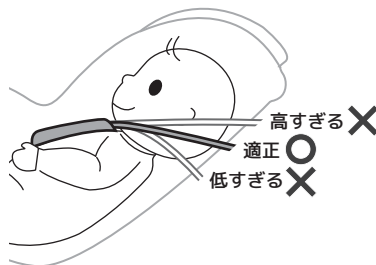


07

後ろ向き使用時には、下図の通り、ハーネスの肩の位置は、お子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩より高くない高さに調節します。

お子さまの肩の高さよりも高い位置だと、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。

参照 P29 > ヘッドレストの調節



ポイント

ハーネスの高さは毎回調節する必要はありませんが、左右が同じ長さで適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、ハーネスの高さ、長さの調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

危険

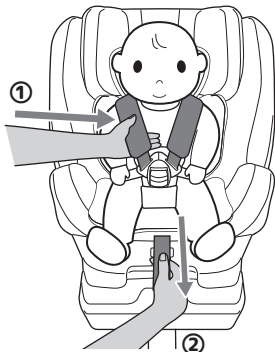
ハーネスは、必ず、左右同じ長さで適切な高さに調節してください。ハーネスが適切に調節されていないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

ハーネスの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

お子さまの胸部で、ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

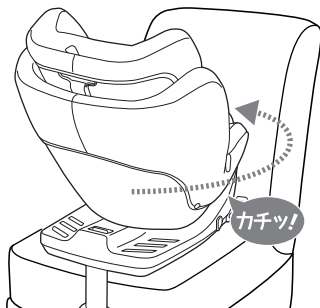


危険

強くハーネスが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまに過剰な負担がかかり、重大な事故につながるおそれがあります。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、お子さまの胸部で大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

09

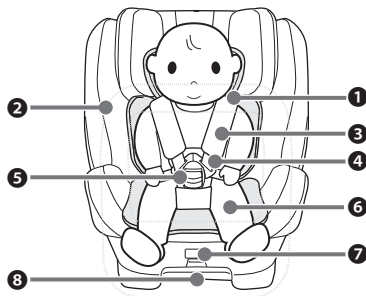
シェルを後ろ向きに回転させて、固定します。



参照 P43-49 >シェル（座席）の回転

10

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。
正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① ハーネスの高さが適正に調節されていること。
- ② ソフトパッドが正しく取り付けられていること（お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けた状態で使用します）。
- ③ ハーネスが適正に締め付けられていること。
- ④ ハーネス、股ベルトにねじれがないこと。ハーネスの腰部分がお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること。
- ⑥ お子さまを正しい姿勢で乗せていること。
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること（お子さまの首がすわる生後 4 カ月頃までは最も寝かせた状態にして使用します）。
- ⑧ シェルが後ろ向きで確実に固定されていること。

11

お子さまを降ろすには、まず、降ろしやすい方向にシェルを回転させてから、バックルを外して、お子さまの腕をハーネスから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。
お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。



勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまがハーネスから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。ハーネスに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

12

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

前向きでの使用

お子さまの身長が 80cm 以上になり、かつ生後 15 か月以上になった場合、シェルを前向きにして使用することができます。お子さまの体格が合えば、引き続き後ろ向きにして使用することもできます。

⚠ 危険 身長 80cm 以上、かつ生後 15 か月以上になるまでは、必ず後ろ向きで使用してください。前向きでは使用できません。

準 備

01

本製品が正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

前向きでの使用時には、ソフトパッドは使えませんので、ソフトパッドはすべて取り外してください。

参照 P30 > 取り外しかた・取り付けかた > 01-02

お子さまを乗せる

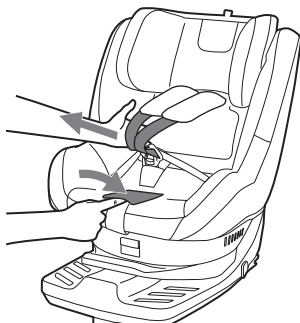
01

必要に応じてシェルを、お子さまを乗せやすい方向に回転させてください。

参照 P43-49 > シェル（座席）の回転

02

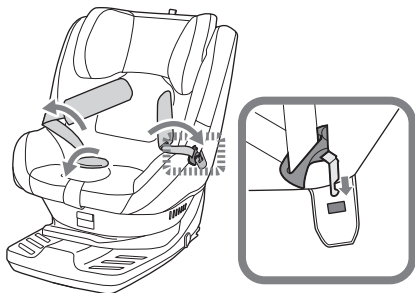
肩ベルトをゆるめます。



参照 P27-28 > ハーネスの長さ調節

03

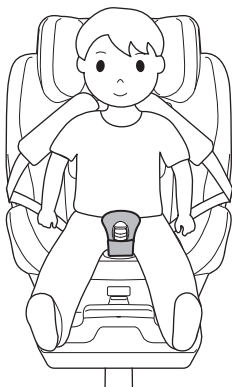
お子さまが、受けバックルや差込タングの上に座らないよう、バックルを外し、①股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、差込タングを外側に出して、両サイドのタングホルダーに差込タングをそれぞれ差し込みます。



タングホルダー

04

楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの背筋を伸ばし、腰を深くして乗せ、股ベルトを両足の間に入れます。



💡ポイント

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

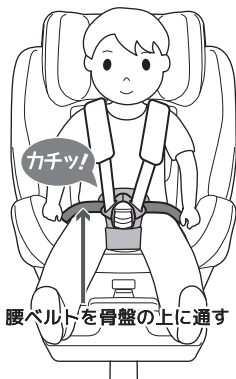
⚠️危険

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく拘束できず、事故や急制動の際にお子さまに過剰な負担がかかったり、本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

差込タングをタングホルダーから外し、ハーネスにお子さまの腕を通します。

ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、ハーネスの腰の部分がお子さまの骨盤の上を通るようにして、「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。



💡ポイント

ハーネスの装着がきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載のハーネスの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられる可能性があります。

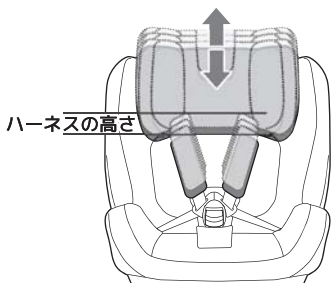
⚠️危険

ハーネス、股ベルトをねじらないようにしてください。ハーネスや股ベルトにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

06

ヘッドレストを操作して、ハーネスの高さを確認、調節します。

ハーネスが締め付けられている場合は、さらにハーネスをゆるめてください。



07

前向き使用時の場合は、ハーネスの高さは、肩の位置と水平になるように調節してください。完全に水平にならない場合は、水平に近かつお子さまの肩より低くならない高さで調節してください。



参照 P29 > ヘッドレストの調節

ポイント

ハーネスの高さは毎回調節する必要はありませんが、左右が同じ長さで適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、ハーネスの高さ、長さの調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

危険

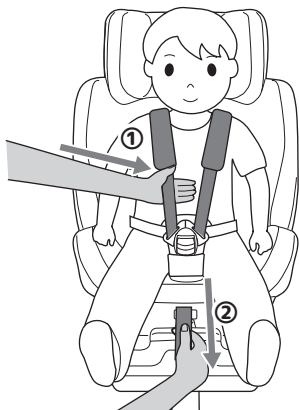
ハーネスは、必ず、左右同じ長さで適切な高さで調節してください。ハーネスが適切に調節されていないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

ハーネスの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

08

お子さまの胸部で、ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。



危険

強くハーネスが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまに過剰な負担がかかり、重大な事故につながるおそれがあります。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、お子さまの胸部で大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

09

シェルを前向きに回転させて、固定します。



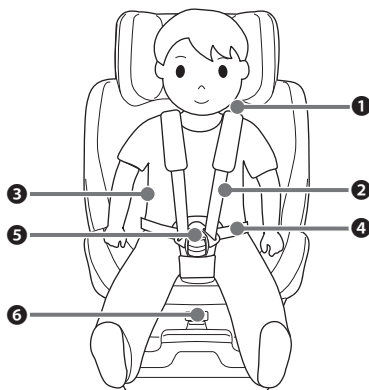
参照 P43-49 >シェル（座席）の回転

💡ポイント

本製品は、お子さまの身長が 105cm (かつ体重 18.5kg まで) になるまで使用することができます。
お子さまの身長が 80cm (生後 15 ヶ月以上) を超えたら、前向きにして使用することができます。
お子さまの体格が合えば、最後まで後ろ向きでも使用できますが、お子さまの足がリバウンドバーにあたるようになったら、前向きにして使用してください。

10

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。
正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① ハーネスの高さが適正に調節されていること。
- ② ハーネスが適正に締め付けられていること。
ハーネス、股ベルトにねじれがないこと。
- ③ お子さまが正しい姿勢で座っていること。
- ④ ハーネスの腰部分がお子さまの骨盤の上を通っていること。
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること。
- ⑥ シェルが前向きで確実に固定されていること。

11

お子さまに、バックルに触らないよう言い聞かせてください。

⚠ 危険

バックルはお子さまには外しにくいよう、操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると、自ら外してしまうおそれがあります。

チャイルドシート使用中は、バックルに触れないよう、バックルを外さないよう、普段から言い聞かせてください。



12

お子さまを降ろすには、まず、降ろしやすい方向にシェルを回転させてから、バックルを外して、お子さまの腕をハーネスから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

⚠ 警告

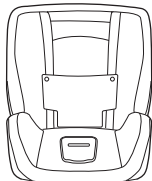
勢よくお子さまを降ろすと、お子さまがハーネスから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。ハーネスに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

13

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

サマーシートの使いかた

本製品には、夏場使用する通気性を高めたサマーシートが付属しています。また、洗い替えに使用可能なヘッドレストのカバー（予備）も付属しています。



サマーシート



ヘッドレストのカバー

サマーシートへの着せ替え、ヘッドレストのカバーの交換の操作は、製品に取り付けられているシートのカバー、ヘッドレストのカバーの取り付け、取り外しと同様です。以下の「お手入れのしかた」を参照してください。

参照 P67-73 > お手入れのしかた

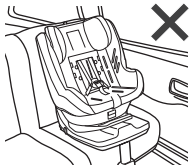
お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

警告

カバーやパッド類を取り外した状態で本製品を使用しないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるばかりか、お子さまや他の方の手指などがはさまれて思わぬ事故につながるおそれがあります。また、本製品のカバーやパッド類に替えて、当社が指定しないカバーやパッド類を取り付けての使用もしないでください。

カバー類を取り外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いてください。お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。



カバー、パッドの取り外し

注意 取り外したソフトパッド、カバー類、パッド類はお子さまの手の届かない場所で保管してください。

ポイント 取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う前に、スマートフォンなどで写真を撮っておくと便利です。

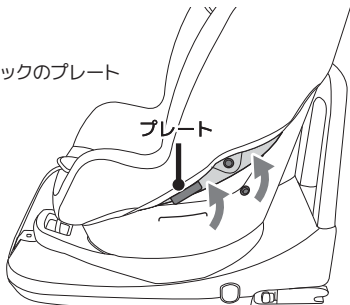
01

バックルを外し、ソフトパッドを取り外しておきます。

参照 P30 > 取り外しかた・取り付けかた > 01-02

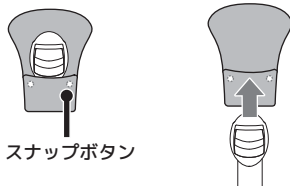
02

シェルの左右のスナップボタンを外します。
シェルの左右の溝にはめられているプラスチックのプレートを外します。



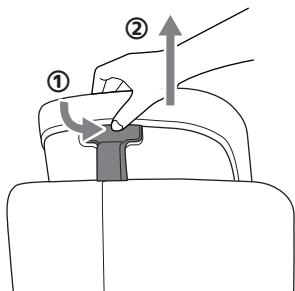
03

股ベルト/パッドの左右のスナップボタンを外して、受けバックルから股ベルト/パッドを抜き取ります。



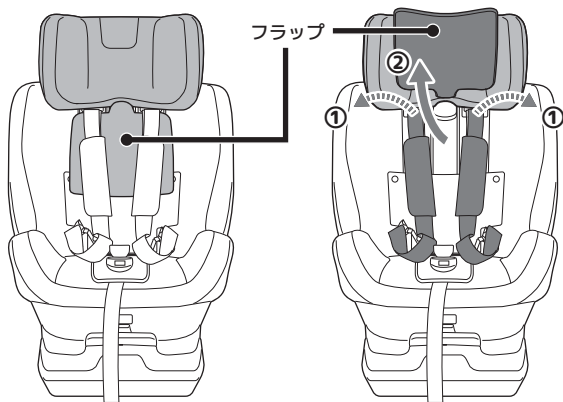
04

ヘッドレスト背部の①ヘッドレストアジャストレバーを握り、②ヘッドレストを最も高い位置に調節します。



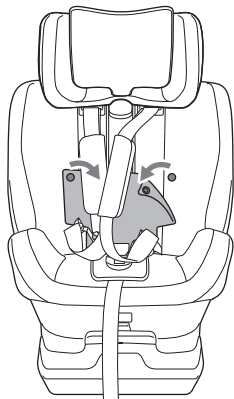
05

①ハーネスをヘッドレスト下のフラップから抜き、②フラップを上にくくります。



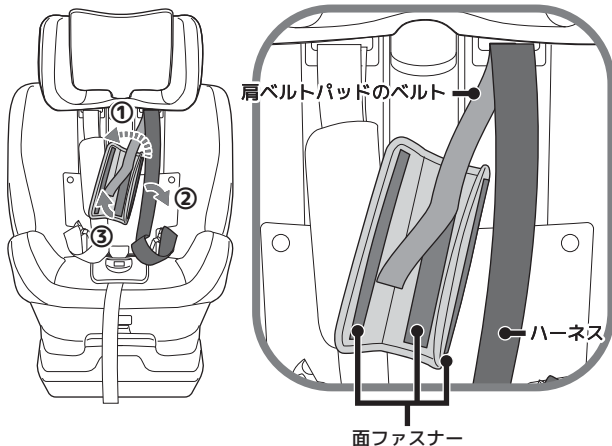
06

シートのカバーの背中部分にある左右のスナップボタンを両方とも外します。



07

- ①肩ベルトパッドの面ファスナーを開き、②ハーネスを取り外します。
- ③肩ベルトパッドのベルトの面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。



ポイント 肩ベルトパッドは、ハーネスには固定されていません。肩ベルトパッドのベルトに固定されています。肩ベルトパッドの上部分では、ハーネスは肩ベルトパッドのベルトの上に重ねられています。

08

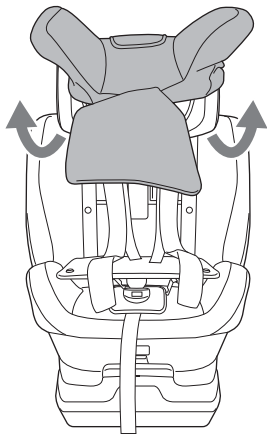
ヘッドレストのカバーは外周のゴムでヘッドレストに被せられています。ヘッドレストの下の奥部分(左右)からヘッドレストのカバーを取り外してヘッドレストのカバーを外します。

ヘッドレストの緩衝吸収材(発砲ウレタン)を傷つけないように注意してください。



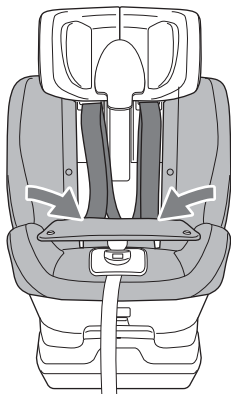
危険

ヘッドレストの緩衝吸収材(発砲ウレタン)は絶対に取り外さないでください。発砲ウレタンが溶解するおそれがありますので、お手入れの際には水のみ使用し、洗剤は使用しないでください。



09

シートのカバーのすき間から、ハーネスと差込タング、肩ベルトパッドのベルトを内側に抜いておきます。

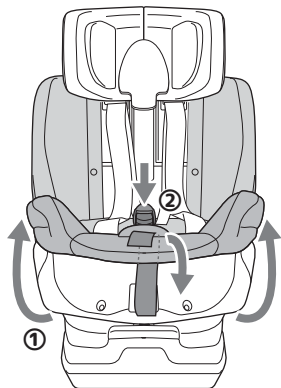


10

①シェルの前端からシートのカバーを外してめくりあげ、②アジャスターベルトと受けバックルをそれぞれのカバーの通し穴から抜きます。

⚠ 危険

シェルの緩衝吸収材（発砲ウレタン）は絶対に取り外さないでください。発砲ウレタンが溶解するおそれがありますので、お手入れの際には水のみ使用し、洗剤は使用しないでください。

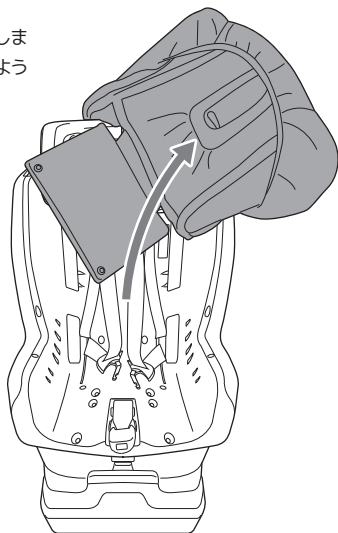


11

ゆっくりとシートのカバーをシェルから取り外します。緩衝吸収材（発砲ウレタン）を傷つけないように注意してください。

💡 ポイント

引っかかった感じがした場合には、都度引っかかりを外しながら取り外してください。



12

取り付けは、逆の手順で行います。

肩ベルトパッドには向きがありますので、取り付けに際しては注意が必要です。以下の項目を参照して注意して取り付けてください。

肩ベルトパッドの取り付け

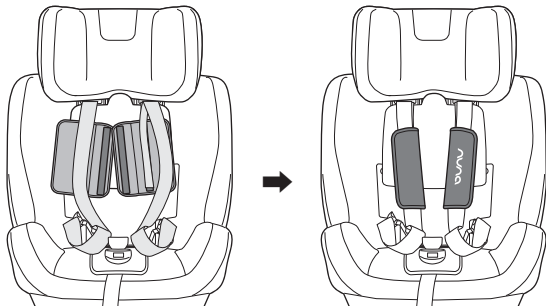
警告 肩ベルトパッドは、正しい向きで取り付けてください。向きが間違っていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

01

取り付け完了時は、以下の図のようになります。

取付完了時の状態

- 縫い目がない側をお子さまの首側にします。
- 滑り止めのある面をお子さまの身体側にします。



02

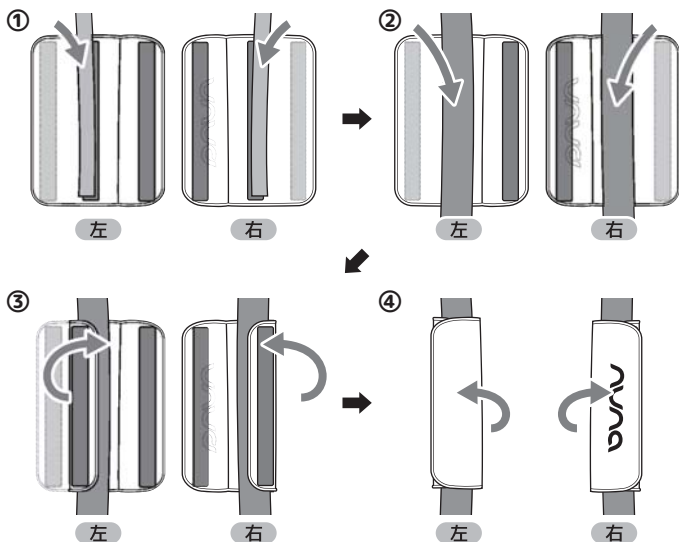
⑥肩ベルトパッドの、左右、前後を確認します。

①肩ベルトパッド用のベルトの面ファスナーと、肩ベルトパッドの真ん中の面ファスナーをあわせて留めます。肩ベルトパッド用のベルトにねじれないように注意してください。

②ハーネスにねじれないことを確認して、肩ベルトパッド用のベルトの上に重ねるようにします。

③肩ベルトパッドの外側を内側に折りたたみます。肩ベルトパッドの裏側にあった面ファスナーが表側に出ます。

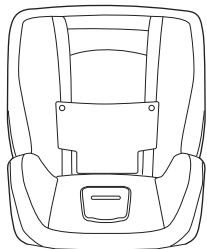
④そのまま肩ベルトパッドの内側を外側にたたんで面ファスナー同士をあわせて、肩ベルトパッドを留めます。



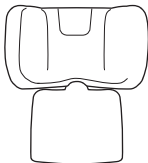
お手入れの方法

ソフトパッド、カバー類、パッド類

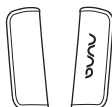
取り外したソフトパッド（クッションは洗えません）、カバー類、パッド類は、手洗いすることができます。30℃以下の水で手洗いしてください。



シートのカバー



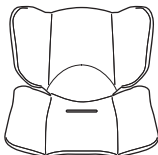
ヘッドレストのカバー



肩ベルトパッド



ヘッドサポート



ボディサポート



洗えません

クッション

01

以下の表示に従って手洗いしてください。

ヘッドサポートは、下部にプラスチックのプレートが入っています。折り曲げないように注意してお手入れしてください。

- 30℃以下の水で手洗い可能
手洗いの上、軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。
- 漂白剤は使用できません
劣化を早め、変退色の原因となります。
- 強く絞らないでください
型崩れ、変形の原因となります。
- アイロンは使用できません
破損、縮みの原因となります。
- タンブラー乾燥はできません
破損、縮みの原因となります。
- ドライクリーニングはできません
破損、縮みの原因となります。
- 有機溶剤、原液の中性洗剤を使用しないでください
ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

⚠ 注意 指定外の方法でお手入れしないでください。指定外の方法でお手入れすると、破損、破れ、型崩れ、変色したり、縮んだりするおそれがあります。

01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。
汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。
洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。
以下の表示に従って、お手入れします。



警告

シェル、ヘッドレストに取り付けられている衝撃吸収材（発砲ウレタン）は取り外したり、破損させたりしないでください。また有機溶剤が付着すると溶解するおそれがありますので、本書の指示に従い、正しくお手入れしてください。

- 研磨剤、有機溶剤は使用しないでください
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、ガソリン、シンナー、希釈剤などの有機溶剤は使用しないでください。
- 水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください
劣化、サビ、異常動作の原因となります。
- 潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください
外れ、ずれ、固定部の思わぬ解除、動作異常の原因となり、本製品が所定の安全機能を発揮できなくなるおそれがあります。
- 市販のウェットタオル、ウェットティッシュは使用しないでください
含まれる成分によっては、樹脂部品に悪影響をおよぼすおそれがあります。



危険

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。



注意

さび、かび、劣化の原因となりますので、ソフトパッド、カバー類、パッド類は十分に乾かしてから本体に取り付けてください。また、本体を濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

ベルト類や、衝撃吸収材など、本書に指示のない部位、部品は、本体から取り外してはいけません。

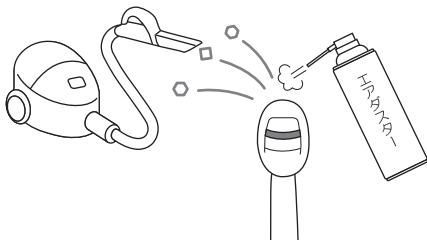
受けバックル、差込タング

01

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。

02

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タング、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。

⚠ 危険

バックルに異常がみられる場合、直ちに本製品の使用を中止してください。お手入れして正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ!と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はそのままにせず、使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

⚠ 注意

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を座席から取り外し車外に出してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

ISO-FIX コネクターはシートベース内に格納しておいてください。

本製品の上に物を置いた状態にしないでください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない涼しい室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証について

本製品の保証期間は、ご購入後1年間です。

本保証は、本製品の修理による修復を提供するものであり、製品の交換や返品を保証するものではありません。

修理にる保証の延長はいたしません。Nuna は、以前に製造された製品を更新する義務なく、製品の設計を改善する権利を有します。

保証期間内に本製品に不具合が発生した場合は、お買い求めになった販売店にご連絡いただくか、本書巻末に記載のお客サービスまでご連絡ください。

本製品のシートベース底面に表記されているモデル番号とシリアル番号を手元にお控えの上、ご連絡願います。

本製品に添付のユーザー登録ハガキをお使いいただき、製品の登録をお願いいたします。

お客様サービス

電話：0568-67-5701

平日 10 時～ 17 時（土日祝日を除く）

【輸入販売元】

株式会社カトージ

〒 484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

<http://www.katoji.co.jp/>

**Thanks for
Choosing Nuna!**